後発医薬品の使用および 院外処方箋での一般名処方をすすめています

後発医薬品（ジェネリック医薬品）の 使用促進について

- 当院は、患者負担の軽減、医療保険財政の改善に資するものとして、入院及び外来において後発医薬品（ジェネリック医薬品）を積極的に採用しています。

後発医薬品（ジェネリック医薬品）とは、

先発医薬品（新薬）の特許が切れた後に販売される、

先発医薬品と同じ有効成分、同じ効能・効果をもつ医薬品のことです。

→ **特徴①**：先発医薬品より安価である。

→ **特徴②**：薬剤によっては、飲みやすくするため大きさ・剤形・味に工夫がある。

院外処方箋での一般名処方の推進について

一般名処方とは、下記の様式により記載された処方をいいます。

【般】 + 「一般的名称：成分名」 + 「剤形」 + 「含量」

処方箋の記載例) 【般】 アムロジピン 口腔内崩壊錠 5mg |錠 分| 朝食後

→ **特徴①**：院外処方箋では、患者さんのご希望で『先発医薬品』または『後発医薬品（ジェネリック医薬品）』を選択することが可能。

→ **特徴②**：院外の薬局では柔軟な対応ができ、安定的な薬物治療の提供へつながる。

- 当院では、上記の特徴を踏まえ、院外処方箋での一般名処方を採用しております。

※医療上の必要性がなく、先発医薬品を希望される場合、医薬品代以外に自己負担が生じる場合があります。

「医薬品供給における対応」

近年問題となっている医薬品供給が不足した場合、当院では医薬品の供給状況等を踏まえつつ薬事委員会及び関連する委員会にて採用医薬品の変更や治療の変更による対応を行っています。変更が必要となる場合は、ご説明をさせていただきますが、ご不明な点がございましたら、主治医または薬剤師にお尋ねください。